

「日本」、夢を育む島「を」めざす。

挑戦  
共創

のなかり夢

PLACE ATTACHMENT

ARCHITECT  
PROJECT  
REGIONAL  
ふるさと  
文化継承

氏  
類  
希  
望  
王

宇久島・砥己 (toko) プロジェクト

# 自己紹介

宇久島で撮影した家族写真を  
投影しました

## すべては、故郷への思いから始まった

“ 宇久島で見つけた夢がある  
『子どもたちは宇久島の宝』そう言われ育まれた。  
この島に恩返しがしたい。若者が挑戦でき、  
今暮らす人が未来に希望を持てる島にしたい。

- 宇久島出身。10歳で建築の道を志し、一級建築士となる。
- 高知工科大学で建築・都市デザインを学び、まちづくり分野へ。在学中、東日本大震災の被災地、岩手県釜石市で地域ベンチャー留学を経験。
- 民間デベロッパー、建設コンサルタントを経て、不動産開発や、PPP/PFI事業の民間提案、プロジェクトマネジメントを経験
- 建築・まちづくりの知識・経験を活かし、ふるさとの未来を担うプレイヤーとなることを決意。

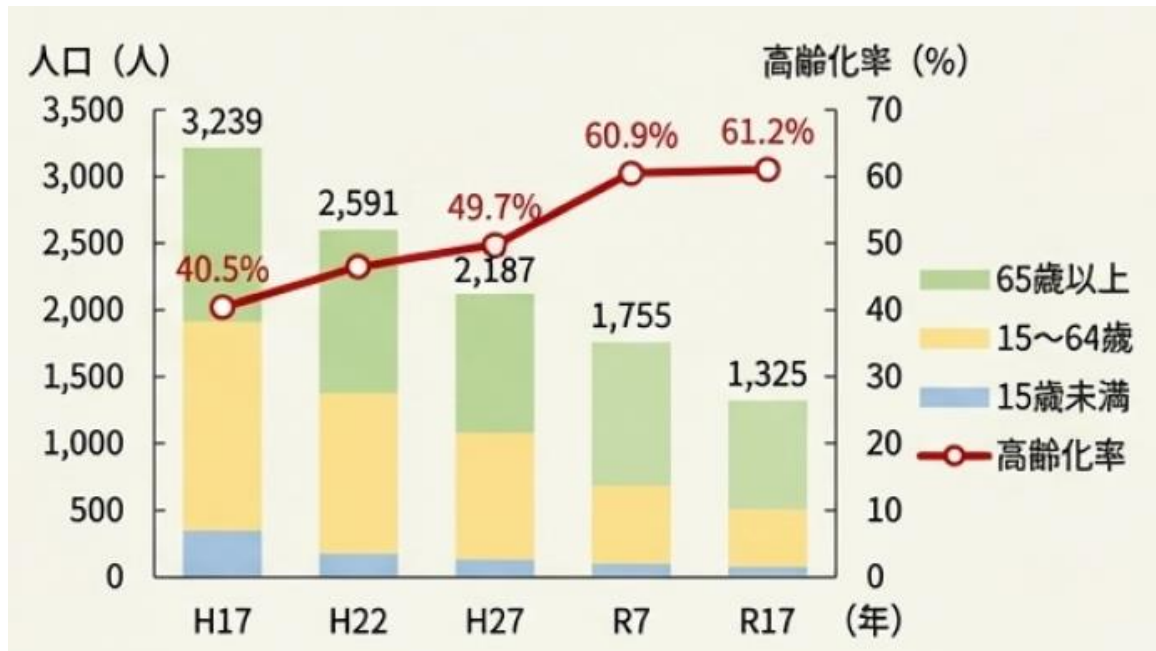
岡田 弘菜(旧姓:狭間)

Okada Hirona

# 課題とニーズ:地域の衰退と、新たな価値観の芽生え

## 課題

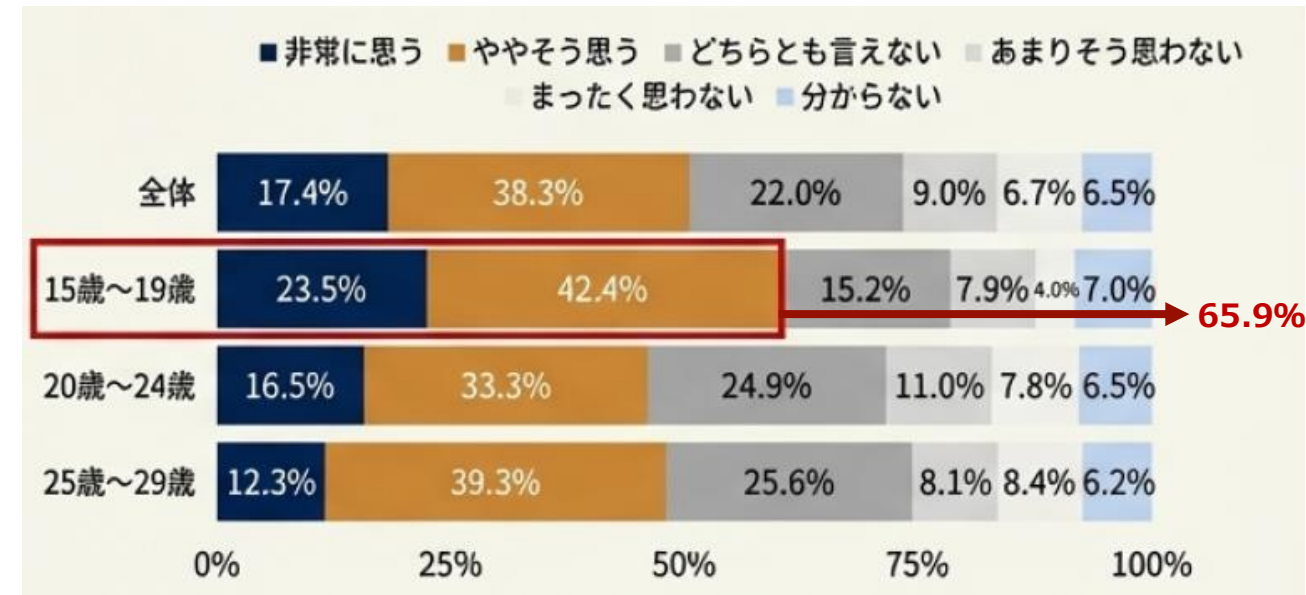
### 宇久島の現状:加速する人口減少と高齢化



- 人口: H17年の3,239人からH27年には2,187人へ(約33%減少)
- 高齢化率: H27年時点で49.7%、R17年には61.2%に達する見込み

## 機会

### 若者世代の意識変化:地域への関心の高まり

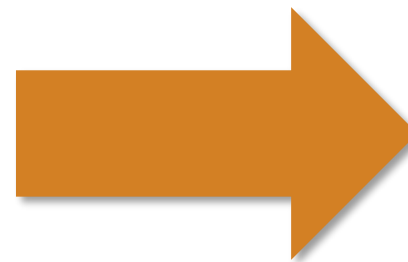


- 東京圏の15~19歳の65.9%が「持続可能な地域づくりに貢献したい」と回答。
- 別の調査でも、20代の約45%が地方移住に関心があるという結果が示されている。

このギャップを埋める「ブリッジ」となりたい!

# 着想①:地域の「やっかいもの」を未来の「よかもん」へ

## やっかいもの



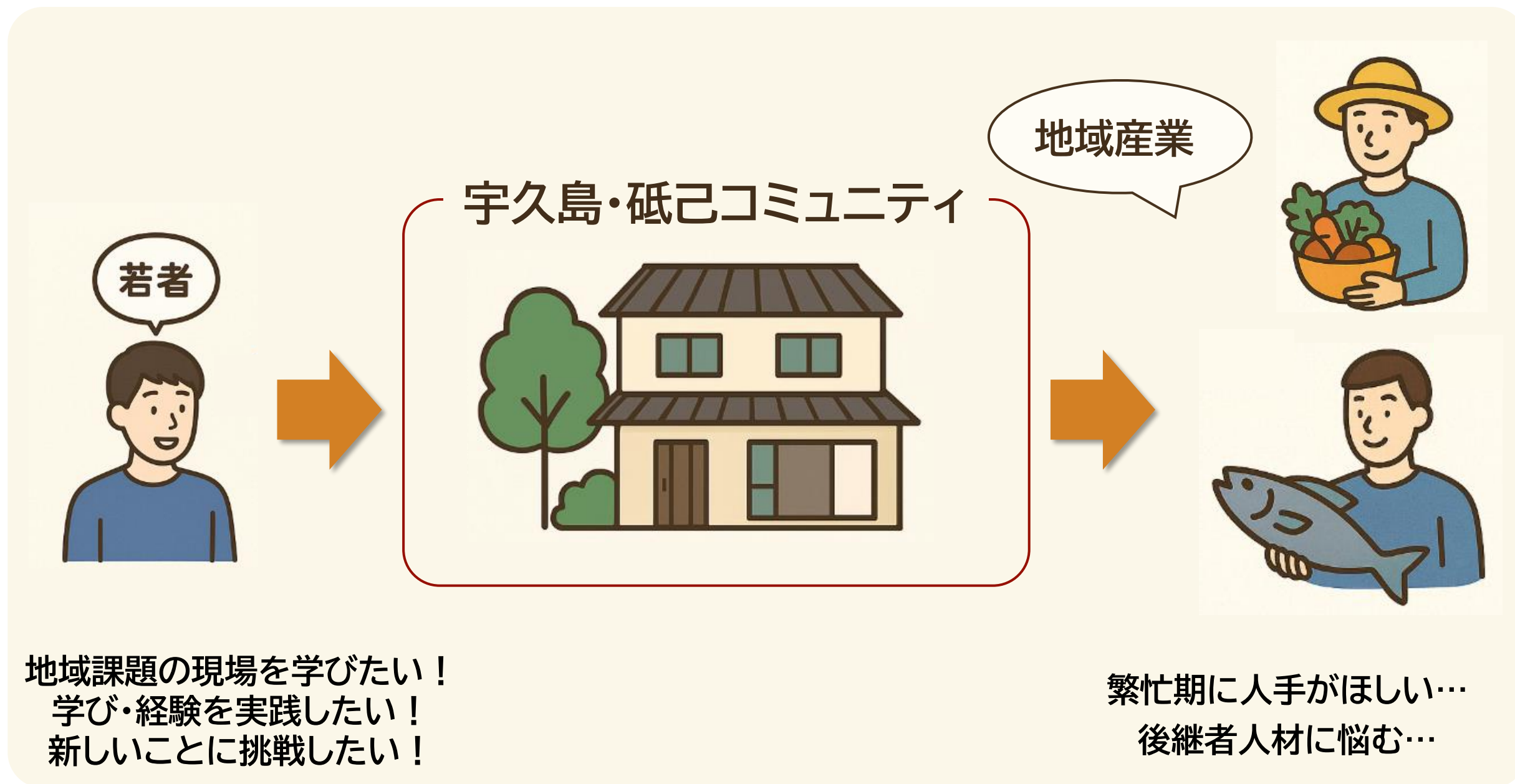
## よかもん



地域の課題を、まちを一つの会社・組織と見立て、みんなで役割分担することで、  
新たな価値やエコシステムが想像できないだろうか。

まずは、未来を語る人を受け入れる居場所をつくろう！

# 着想②: 外部人材が地域産業に入りやすく



まずは、気軽に滞在できる住まいをつくろう！

# 挑戦者のホームベース砥己(toko)プロジェクト

砥己(toko)とは、「己を砥ぐ」という意。元所有者の姓「石矢」の名残を残した。



## 学び・交流・憩いの空間

- 本を併設したブックカフェ併設のシェアスペース
- 島の主要産業が学べる「知」の拠点
- 住民がふらっと立ち寄れる交流・憩いの拠点
- 島内側の「まなびたい！」に応じるセミナーなどの開催

## 担い手のための住居

- 社会課題解決意欲のある若者・大学生や、島の産業・新たな事業の担い手が滞在するシェアハウス
- 挑戦者が集い、交流するコミュニティを形成

改修費約1,500万円。約10年かけて回収する賃貸ビジネスを提案

# クラファン、LINEコミュニティづくりに挑戦

クラファン支援者数 延べ119名  
宇久島プロジェクトのLINEコミュニティ登録者数113名

**クラウドファンディング挑戦中**

離島・ふるさと宇久島から。  
島の人の憩いの場・若者のホームベース  
シェアスペース「砥己 (toko)」をつくります！

10年後の宇久島を、一緒に描きませんか？島の空き家を再生し、島内外の人が集う拠点・島時間をくつろげる居場所をつくるプロジェクトに挑戦しています。人口減少が加速する中、未来のふるさとの姿を思い描き、「共に暮らす」をテーマに掲げた建築活用企画です。どうかご支援・応援メッセージをよろしくお願いいたします。

ちょっとお茶する場所が欲しい！  
30代～60代女性

島外の大学生、若者・移住者との交流の場あったらいいな！  
中学生

人材受入のための、住まいはないかな？  
地元事業者

島の人の対話を経て、企画しました！

カフェキッチン (1階)

シェアスペース (1階)  
2階にはシェアハウスを企画しています

詳細はこちら→  
応援メッセージもお待ちしています！

クレジットカードによる決済、銀行口座振込による寄付金を集めています

目標金額  
750万円

振込先情報

金融機関名：PayPay 銀行  
金融機関コード：0033  
店番号（支店コード）：005  
支店名：ビジネス営業部  
口座番号：1000488  
預金種別：普通預金  
口座名義：カ）ヨカプロウキマプロジェクト

ご支援の際は、下記メール又は右のQRリンク内よりLINE にご登録頂き、メッセージ頂けると幸いです。  
info@yoka-pro.com

情報披露にご協力  
よろしくお願ひします



LINE 公式アカウント

# 友だち 募集中

@410vfcne

砥己プロジェクトの活動報告や、  
宇久島の情報を幅広く配信しています！



うれしい情報をLINEでお届け！

© LY Corporation

# 資金調達の壁

5年分の会社のCFをつくりこみ、融資相談に行くも、現実には厳しかった…。

「島には支店がないから難しい」

「宇久島の空家にお金は貸せない」

「創業期で実績がない中では難しい」

## クラファン支援者の声

「そういう場所が欲しかった！」

「時間はかかるかもだけど、頑張ってほしい」「応援しています」

「帰る楽しみができました！」

応援文章のメッセージは98通以上

現地でもたくさんご支援の声をいただいています

寄付者は延べ119人 支援金2,425,588円(2025年12月19日時点)

# 方針の見直し: できることは、必ずあるはず!!!

原点に立ち返る。——「大規模修繕しなければ使えない？」  
まずは、掃除・片付け、周辺の草刈りをしながら考えました。



ありがたいことに、たくさんの方が手伝いに来てくれました

## 砥己の短期ビジョン

**“縁側”を開き、人とつながり、  
夢や未来を語る時間を生み出す**

### <整備方針>

クラファン支援者の貴重な資金を財源に、  
最低限の機能(屋根の改修)修復から取り掛かり、「縁側開き」から始める！

### <活動方針>

繋がった方々と、地域ビジョン「夢を育む島」をめざした、  
資金的な負担の少ない連携企画をコツコツ積上げる。

## 「日本一、夢を育む島」を目指して。

短期： “縁側”を開き、人とつながり、  
夢や未来を語る時間を生み出す拠点

---

中期： 「島好き」「地域好き」が集まる拠点  
新しいプロジェクト実行者が集まる拠点  
地域の産業・文化継承者が集まる拠点

---

長期： 中長期滞在型の流動人材の受入拠点に

まずは己を砥ぎながら、でてくるアイデアを本気でできないか、と語り合う！  
プロジェクトを、地域の人々の魅力として“発信”し、“応援”は地域に還元！

# 12月 砥己利用者の声

- … (略) … **普段自分の頭の中だけで考えている夢(自分でやりたい)や希望(この島にあったらいいのに)を言葉にして、真剣に話し合える場所**を見つけた気がします。飲み会や友人との会話とは一味違う、しかし、**構えることは無く、自分の夢を真剣に夢語り、そして、仲間が見つかる場所**です。  
まだ、リフォームは出来ておらず、砥己も夢半ばのようです。夢を諦めていない場所だから自分の夢も恥ずかしがらず語れたのかもしれません。 … (略) …
- 岡田さんのお話を通じて、… (略) … **明確なビジョンをお持ちであることが伝わってきました。** … (略) … **共に学びながら進めていく必要性を強く感じました。** 今後の展開がますます楽しみです。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

